

成果指標				
成果指標	水道事業に必要不可欠であるが、人件費のみの事業であり、成果指標の設定は困難である。			
指標設定の考え方	水道事業に必要不可欠であるが、人件費のみの事業であり、成果指標の設定は困難である。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目 標	150	165	200	0
実 績	200	194	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	5	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	5	
課題認識	住宅開発が徐々に上向き傾向にあり昨年度と同等の申込件数となっているが、経済情勢により申込件数が変動することから予測が困難である。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	A
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	給水装置の点検及び検査を実施することにより、漏水や誤接合等を未然に防ぐことができ安全で安定した給水が可能となる。今後においても点検従事者の知識・技術力の向上を図ると共に、課員相互の協働体制のもと組織力を向上させていく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題